



# 第4会場●4F 大研修室

■司 会／五反田新一 鹿児島県立青少年研修センター 研修主事  
大塚 忠生 福岡県教育庁筑豊教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方 10:45~10:50

1 おもちゃ病院活動の生涯学習への貢献 10:50~11:20

波多江 保彦(福岡県糸島市) ボランティア団体 おもちゃ病院伊都国 顧問

平成19年から活動する「おもちゃ病院伊都国」。現在、平均年齢65歳の高齢者21名の会員で年間30回ほど開催している。活動範囲は、おもちゃの無償修理を原点に、小中学校でのおもちゃ修理体験学習支援、リユース支援などに拡大しており、高齢者の生きがいづくりにも貢献している。この活動が評価されて、県内自治体からの数々の地域づくり活動賞のほか、平成28年度環境大臣表彰を受賞している。

2 おいでよ～「なぎさ未来塾・ひまわりハウス『わいわい食堂』」 11:25~11:55

あいどり 追鳥 嘉正(鹿児島県始良市) 松原なぎさ校区コミュニティー協議会長  
吉村 哲朗(鹿児島県始良市) NPO法人Lかごしま 理事長

始良市の松原地区は人口増加地区で新旧住民の交流が課題だった。平成27年発足のコミ協とNPOが連携して、市内の空き家や公民館を活用した「ひまわりハウス」事業を市内8か所(平成30年)で実施。地域の人材を活用した子どもたちへの学習支援活動、貧困に悩む家庭だけでなく、日常孤食の多い子どもや独居高齢者等へ食事を提供する「子ども未来塾・わいわい食堂」を年32回開催。地区内や地区外のボランティアの皆さんで運営。予算等も寄付金や米、野菜など沢山いただいている。

3 女子目線でのマチナカ再発見～女子部流楽しさの仕掛けとその先～ 12:00~12:30

阿部 美和子(長崎県長崎市) ナガサキマチナカ女子部長

「何かしたい」と「マチ」を思う女子達が「女子部」を結成してのまちづくり活動です。さらに「マチ」の人達も“巻き込み”参加・共感し、自分が主役のイベントを創り上げています。ヒントは女子が楽しいと思うこと☆コンセプトの“自分のまわり5メートルを楽しく”は、自分から動くことを楽しいと思える人をたくさん作れたら何かが変わる。「マチナカおもてなし壁新聞大作戦」等で、2016年「長崎市まちぶらプロジェクト」認定団体です。